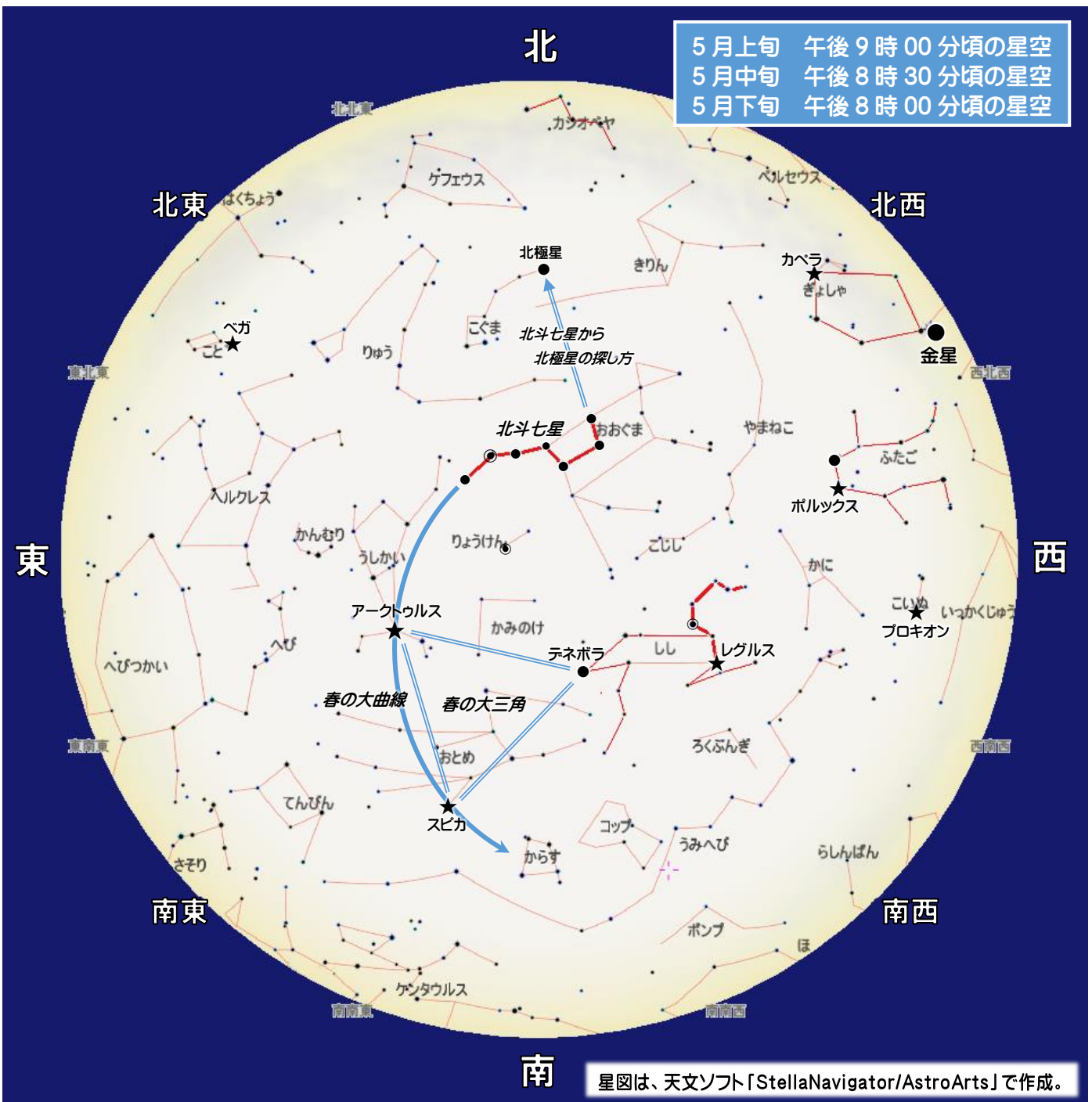


2020年 5月の星空案内



【5月の星空】

北の空高く、おおぐま座のしっぽの辺りに「北斗七星」が見えます。北斗七星の柄のカーブをそのまま延ばしていくと、うしかい座の1等星「アークトゥルス」、おとめ座の1等星「スピカ」、その先にからす座をたどることができます。これが『春の大曲線』です。この2つの1等星に、しし座のしっぽの辺りに光る2等星「デネボラ」を加えると「春の大三角」になります。

【春の二重星】

北斗七星の柄から二番目の星がミザール、すぐ近くに光る星がアルコルです。目の良い人なら肉眼で見える肉眼二重星です。ミザールとアルコルは、古代アラビアで兵士の視力検査（2つに見えれば合格）に使われたという話があります。ミザールは望遠鏡で見ると、さらに二重星になっています【主星（白）2.3等・伴星（白）4.0等】。他に、しし座 γ 星【主星（黄）2.2等・伴星（橙）3.4等】、りょうけん座 α 星（コルカロリ）【主星（うす黄）2.9等・伴星（うす紫色）5.5等】など、望遠鏡で楽しむことができます。（上の星図では、二重星を「●」で示しています。）